

田和山の森から

“謹んでお悔やみ申し上げます”

突然の訃報に接し驚きました。遠藤忠夫さんが去る10月3日(土)に逝去されました。入院治療中とは聞いておりましたが、あの元気な方が亡くなられるとは思ってもよらないことでした。一昨年まで森の整備作業に汗を流してきた仲間でした。ゴルフが上手くホールインワンを一日に2回やるという離れ業をやったと聞いており、毎週ゴルフに出かけておられました。何よりお酒が好きで、本会の親睦会には必ず参加し、酒や焼酎を楽しそうに飲み、賑やかに場を盛り上げてもらいました。森の整備についても大局の見地から意見を述べられ心強く、まだまだご活躍頂けると思っていたのに残念です。天国から私たちの活動を見守って下さい。



心からご冥福をお祈りします。

合掌 (石井記)

フェンス沿いの整備

9月はフェンス沿いの整備を行いました。毎年この時期になると、金網に絡んだクズ等が繁茂し取り除くのが大変ですが、今年も二回の作業で整備できました。



フェンス沿いの整備



森の彼岸花 (左赤花右白花)

ご苦労さんでした!

長い間、本会の会員としてお世話になった目次照江さんが、この度退会されました。目次さんには特にたよりの配布をご協力いただきました。有難うございます。今後共本会のことに付きまして何かとご協力お願いいたします。



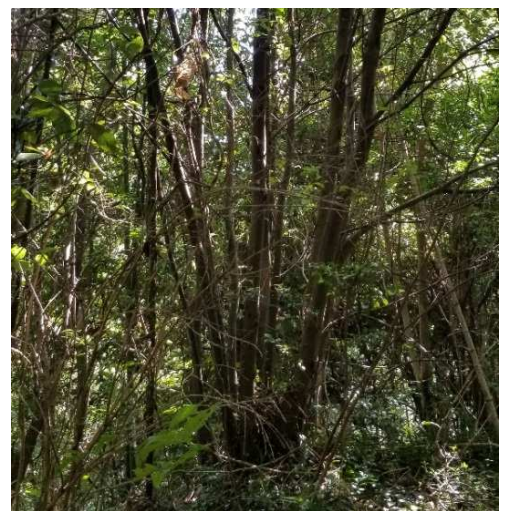
田和山の樹木 第14回 アラカシ

田和山のブナ科の常緑樹は、4種類があります。そのうち、最も多く生息しているのは、アラカシです。

カシの特徴として材が非常に硬く、“硬し”という言葉に由来していると言われています。樹皮に割れ目が多く粗い感じのするものが粗樫(アラカシ)で、材が赤味を帯びるものは赤樫(アカガシ)で、材が白っぽいのは白樫(シラカシ)と呼ばれています。

田和山にあるカシ類は、ほとんどがアラカシです。カシを伐採して放置しておく、株立ちになり、写真のようになります。比較的真っ直ぐな材を取ることができ、簡単な加工だけで鉋、鎌、鋏の柄として使うことができるため、重宝されていました。

また、火力や火持ちも良く薪や炭の材料として欠くことのできない樹木でしたが、そのような利用がなくなった今、田和山でも結構な太い材が育っています。(竹下)



○ 今後の作業予定

10月9日(金) 13:30~、17日(土) 9:00~、23日(金) 13:30~、30日(金) 13:30~
11月6日(金) 13:30~、13日(金) 13:30~、21日(土) 9:00~、27日(金) 13:30~